

地域づくり活動支援指針 具体的な支援方策の展開(案)

(1) 情報の提供・相談のしくみづくり

情報を共有するしくみの充実

だれもが情報を得やすいしくみづくり(多様な媒体の活用等)

だれもが情報の提供者となるしくみづくり(地域づくり活動登録等)

県民同士で情報をやりとりできるしくみづくり(知識や技術の蓄積・やりとり、登録制度の効果的な運用等)

相談内容に応じた相談のしくみの充実

総合的な相談窓口の設置(相談先を紹介する窓口機能)

専門家が応じる相談体制の整備

(2) 知識・技能の習得機会の提供

参画・協働を体験する機会の充実

多様な機会を活用した若い世代の参画・協働の促進(授業、トライやる・ウィーク等)

知識等を学ぶ機会の充実

多様な主体による学習機会の提供

系統的に学ぶための学習資源のネットワーク化(基礎的知識の習得から専門性の向上へ)

活動主体と連携した学んだことを活動に結びつけるしくみづくり

学んだことを活動に生かす機会の充実

(3) 活動・交流拠点の確保

身近で使いやすい活動拠点の充実

主体的な活動を展開する拠点としての充実

参画・協働のきっかけ(新たな参加者)をつくる地域の交流の場

活動したくてもできない人(子育て中の親、障害のある人、サラリーマン等)の参画を支える場

広域的、総合的な支援拠点の充実

結節点としての機能の充実(広域的な結びつき、活動の広がりを生み出す交流の場)

(4) 人材の確保・資金の調達・総合連携

地域に根ざした活動を支える人材の育成

地域の実態に即した活動を展開できるリーダーの育成(地域に活動の基盤を持ったリーダーの育成等)

活動団体の組織を運営できる人材の育成(マネジメント、財政的運営の能力向上)

地域プランナーの育成(地域プランナー:地域資源を結びつけて、ネットワークを形成したいときに、それに呼応して支援する人材)

活動を総合的に支える中間支援組織の育成

コーディネート機能の充実（行政の積極的な情報提供、中間支援組織の活用等）

活動に必要な財政的基盤の充実支援

活動の対価として収入を得るしくみづくり（地域通貨の活用、コミュニティビジネスの促進、事業委託の推進等）

基金の有効活用（ボランティア基金、復興基金）

寄付、助成金等を受け入れやすくするしくみづくり（税制措置の改善要求等）

補助の基準や手続きの明確化

多様な主体の交流機会の充実

多様な主体による重層的なネットワークの形成促進（地域団体とテーマ型団体、地域団体と地元企業等の連携促進、地域と地域の連携・交流等）

マッチングのしくみの充実

地域で展開される多様な活動を結びつけるしくみづくり（人、情報、資金等のマッチング、個人と団体、団体と団体、行政と団体のマッチング）

多様な主体による協働の促進

（５）支援のしくみづくり

活動の拡がりに柔軟に対応するしくみづくり

個人の活動を広げるしくみづくり

先進的取り組みへの支援

しくみのフォローアップ・検討

活動団体等が評価し合うしくみづくり

公正な評価

団体間の活動の補完、連携の推進